



取引先の3次元データを読めるようになると、今までこななかった仕事もたくさん頂戴するようになり、設計者が不足しています。受注も増加しました。工数は、従来比で50%削減です。

株式会社セディック 様

静岡県浜松市寺脇町 713
<http://www.sedick.co.jp/>



自動車産業が盛んな、静岡県浜松市に拠点を持つ、セディック様は、主に自動車のエンジン・ミッションなどの加工・組立ラインの設計製作をしている会社です。今回は、設計グループの山梨雅人様に、TRANSER の導入効果をお聞きしました。

Q: CAD-TRANSER 3D の導入経緯は？

A: 数年前までは取引先の自動車メーカーから DXF ファイルで2次元データをもらい設計していました。

しかし最近、自動車業界の3次元化に伴い、ここ1~2年は、取引先へも3次元データのみの供給へとシフトしてきました。



このため、自動車メーカー各社のハイエンドCADの導入を検討しました。しかし弊社は自動車の製造工程のコンベアやパレット等の設計が主なので、設計業務に3次元設計は必要がありません。また、ハイエンドCADは非常に高価なために、購入までには至りませんでした。

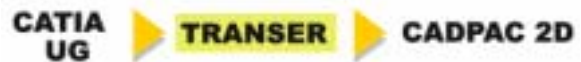
そこで、取引先の3次元のデータを取り込めないかと考え、CAD-TRANSER 3Dをお借りし、評価した後、購入することにしました。

Q: 変換する3次元CADデータの種類は？

A: 取引先から受け取る3次元CADのデータは、主にUnigraphicsとCATIAです。

IGESデータ形式ですと、どうしても、面落ちが発生するので、ネイティブデータを取り込めるデータ変換ソフトを探していました。CAD-TRANSER 3Dはどちらも標準機能で持っていたので、あまり迷わずに購入決定ができました。

自社でのデータ変換の活用法は、自動車メーカーから出される、3次元CADのデータを、2次元CAD CADPACに図面を転送し、それを元に2次元設計をするという、非常にシンプルな流れになっています。



Q: CAD-TRANSER 3D 選定理由は？

A: 簡単な操作で、3次元CADデータを読み込めるという点。弊社の2次元CADの主力であるCADPACにダイレクトに連携し、2次元データに受け渡せる点。3次元CADのバージョンアップにも迅速に対応し、最新版のデータも読み込める点でしょうか。



導入前の問題点

- ・3次元CADのIGESデータの場合、2次元図面に展開しても、完全な変換ができないこともあり、手直す時間がかかっていた。
- ・あるメーカーでは、IGESデータでの供給から、ネイティブデータでの供給に切り替わったため、変換ソフトが必要になった。
- ・2次元図面では干渉チェックが出来ないため、製品を作成してから、手直しをするというマイナス工数も発生していた。

導入後のメリット

- ・取引先の自動車メーカーのネイティブデータを問題なく取り込めるようになった。
- ・パレットを作る際の干渉チェックができることにより、製作後の手直しが解消された。
- ・治具等の3次元データを受け取れるようになったため、客先から供給された3次元データで製作可能となり、従来と比べて、工数が大幅に短縮した。

ポイント

トータルで従来比50%の工数削減となった！

導入後に分かった追加効果

今まで、3次元CADデータの受け取りを断っていたのですが、3次元CADデータを受け取るようになってから、受注物件が増えました。

また自社の外注下請け設計は、2次元CADしか持っていないので、3次元データを2次元データに変換し、供給することで、今までよりも工数が少なくなりました。

現状、受注物件が増えているので、CADも設計者も不足している状態です。

しかしなかなか良い人材がすぐには見つからないため、CAD設計の効率化と、TRANSERにもっと働いてもらって、しばらくは運用していきたいと思います。(笑)

今日はどうもありがとうございました。

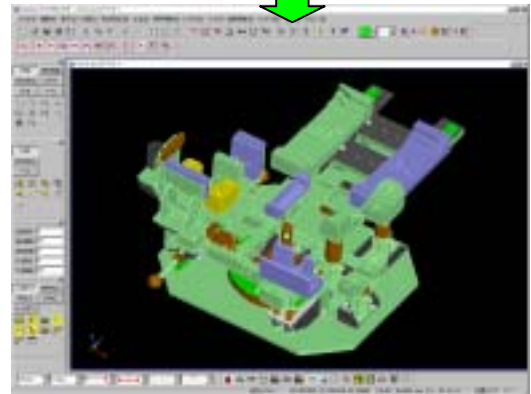
使用ソフト

3DCAD CAD-TRANSER 3D
2DCAD CADPAC-CREATOR 6台

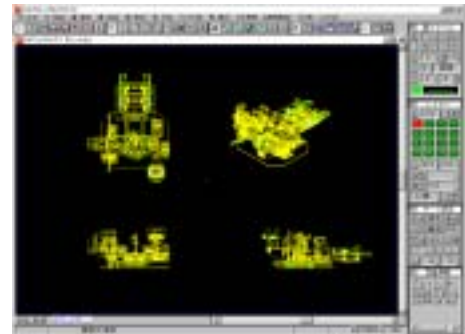
PC環境

CPU Pentium4 3GHz
メモリ 2048MB
HDD SATA-120GB
グラフィック GeForce FX5900

オリジナルの3次元データ



TRANSERで入力



CREATOR 2Dに展開し
製品設計図面化

加工・製品化



CAD
TRANSER
3D
Ver.2